



2008年4月21日
JGSAマテリアル委員会
競技・強化委員会

< JGSA公認大会マテリアル・プロテクター着用ルール他について >

2008年FIS・JGSA公認国内大会において競技ルールの内、下記項目について
ルール則りにマテリアル、プロテクターチェックを実施します。

- * プロテクターチェックはスタートエリアにて実施
- * 項目違反者は該当競技スタート禁止とする

2008-4グラススキーサイドプロテクター

左右のグラススキー交差止めとしてグラススキーの前後に50cm²以上の
プロテクターを装着しなければならない

2008-5クラッシュヘルメット

全競技者及び前走者は、競技用品使用に適合したクラッシュヘルメットを着用しなければならない。
シェルとパッドが頭と耳を保護するヘルメットのみ、認められる。スポイラーがついていたり、
エッジが突き出しているヘルメットは認められない。安全上の理由により、特定のヘルメットの上面は、
滑らかでなければならない。FIS・JGSAグラススキー競技において使用されるヘルメットはその競技分野の
特性に対し、明確に設計、製造されJIS他などの各工業生産基準に適合した製品でなければならない。
耳のソフトプロテクションは、スラローム種目のみに認められる。

2008-6バックプロテクター

FIS・JGSAグラススキー競技において全競技者及び前走者はバックプロテクターを着用しなければならない。
バックプロテクターは、選手の脊柱の身体構造上のカーブになじみ、また肩ベルトで装着し身体にぴったりと
重なるものにてでなければならない。
バックプロテクターの上端は、脊柱の範囲内に位置していなければならない。かつ第7頸椎(C7)より上にあつて
はならない。空気力学的特性を改善するためのデザインは、全て禁止する。
バックプロテクターは、競技スーツの下にしか着用できない。

FIS・JGSA旗門(スノースキーとの違いについてご確認下さい)

IWO SL 801.2.3 旗門の幅は4m以上8m以下でなければならない。